


会 議 録

会議の名称	第1回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	平成27年12月21日(月) 午後7時00分～8時45分
開催場所	戸田市役所 大会議室A
委員氏名	<p>◎□ 大山 宣治 ○□ 横山 誠 □ 宮崎 快</p> <p>□ 千葉 修平 □ 西久保 裕康 □ 柴田 忠雄</p> <p>□ 丸山 利夫 □ 播 義也 ■ 市川 悦夫</p> <p>□ 武内 利行 □ 菅原 光正 □ 浦田 達也</p> <p>□ 伊藤 寛幸 □ 遠藤 英樹 □ 細田 昌孝</p> <p>□ 川上 実雪 □ 廣井 佑磨 □ 松下 啓一</p> <p style="text-align: right;">(◎委員長 ○副委員長)</p> <p style="text-align: right;">(□出席 ■欠席)</p>
事務局他	伊藤部長 安部次長 後藤課長 野崎主幹 矢作副主幹 元谷主事 大内主事補
議 題	<p>(1) 委員長・副委員長の選出</p> <p>(2) これまでの啓発活動について</p> <p>(3) 今後の実施内容について</p> <p>(4) その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
議事録確定	<p>平成28年 1 月 7 日</p> <p style="text-align: center;">委員長 大山 宣治</p> <div style="text-align: right;">  </div>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 2 委員自己紹介 3 事務局職員紹介 4 議事 <u>(1) 委員長・副委員長の選出</u> 委員長・副委員長の選任については、条例第5条の規定により委員の互選により定めることになっている。 まず、委員長の選任について意見はあるか。
委員	本日初めて顔を合わせた方が多く判断が難しい。事務局で案はないか。
事務局	地域の活動や市内の各委員会等で永年にわたり貢献されている団体推薦委員のうち、会の代表者を務めている大山委員にお願いしたいと思う。 (異議なし)
委員長	了解した。
事務局	続いて副委員長の選任について、意見はあるか。
委員長	自治基本条例の制定に携わっていた播委員か横山委員にお願いしたい。
委員	横山委員を推薦したい。
副委員長	了解した。
事務局	委員長は大山委員、副委員長は横山委員が選出された。ここからの進行は委員長にお願いする。
委員長	<u>(2) これまでの啓発活動について</u> それでは、(2) これまでの啓発活動について、事務局に説明をお願いします。
事務局	(2) これまでの啓発活動について、第1回会議資料により説明
委員長	ただ今の事務局の説明について、何か意見等はあるか。 (意見等なし)

委員長	<p>(3) 今後の実施内容について</p> <p>続いて、(3) 今後の実施内容について、事務局に説明をお願いする。</p>
事務局	<p>第1回会議資料により説明。</p>
委員長	<p>ただ今の事務局の説明について、何か意見等はあるか。</p>
委員	<p>私は、自治基本条例の制定のときから携わっているので、始めに私なりの解釈をお話しさせていただく。</p> <p>条例というものは、何かを禁止したり規制したりするものが多く、普通に生活している分には、自分にあまり関わりのないものだと思っていた。しかし、自治基本条例は、何かを制限するものではなく、まちをより良くするために定められた「理念条例」をいう性格を持っていて、何かまちのためにやりたいと考える人にとって支えになり、後ろ盾になると認識している。</p> <p>また、まちを良くしたいと思っても、市民・議会・行政の三者がそれぞれバラバラに行動するのではなく、難しい部分もあるが、互いに話し合いをして、一つの結論を出していくということが成熟した自治の形であると感じている。</p> <p>この委員会においても、委員である皆さん自身が自治を体験できる場になれば良いと思う。</p> <p>また、この委員会に期待されていることとして、これまでの附属機関とは異なると思うが、委員の我々が汗をかいて、自治を作っていく起爆剤や刺激になれば良いと考えている。</p> <p>したがって、委員会に出席するにあたり、自分の身の周りにある課題について意識して出席していただきたい。また、不明点等については、自治基本条例検討市民会議委員だったメンバーに聞いてほしい。</p>
委員	<p>自治基本条例は良いことが書いてあると思うが、内容に具体性がなくイメージがしにくい。例え話や具体例があれば啓発しやすいのではないか。</p>
委員	<p>例え話や具体例についても、これまでの「行政に考えてもらう」というスタンスではなく、どうすればわかりやすく伝えることができるかを、この委員会の中でアイデアを出し合っていこう、というのが自治基本条例の理念に繋がる。そういった意味でも、この委員会に与えられた役割はとても大きいと言える。</p>
委員	<p>今現在どのような課題があるかを考えることが重要である。この会議の中だけで考えても良いが、例えば小学生や中学生に「まち」について問いかける等、直接市民と話ができる機会があれば良いと思った。</p>
委員	<p>今のように全員で話している状態では意見は出しにくい。したがっ</p>

	<p>て5～6人程度のグループになって話し合うことも良いと思う。また、行政（事務局）に意見を求めるときには、「何かおもしろい考えはないか」のように、意見を引き出すようにすると良い。</p>
委員長	<p>これらの意見を受けて、事務局としてはどう考えるか。</p>
事務局	<p>委員会の進め方について、今回は初回ということもあり、口の字型の形式にしたが、もっとラフな形にした方が、フリートークに近くなり活発に議論できると思うため、少人数のグループの形式を取るのも良いと考える。</p>
委員	<p>静岡県焼津市にも自治基本条例推進委員会があるが、この委員会は「活動する委員会」であり、市民・議会・行政が参加する「まちづくり市民集会“大ワールドカフェ”」を実施している。この集会に事務局の矢作副主幹も出席していたが、どのような様子だったのか聞かせてもらいたい。</p>
事務局	<p>5～6人の少人数グループに分かれて討論を行った。司会や会場の誘導等も実行委員会が行い、各テーブルについた委員がグループの取り仕切りを行っていた。少人数ということもあり、それぞれの立場で身近な経験等を踏まえ活発な議論がなされていた。また、色々な市民の考えを知ることができた。</p>
委員	<p>このような集会で議論をすることで、お互いを理解できたり、これまで知らなかったまちの一面を知ったりすることもできる。すべてを真似する必要はないが、このメンバーで意見を出し合い、戸田市の新しい文化のようなものを作れたら良い。</p>
委員	<p>諮問に対して答申する際に「自治が進んだ」と分かる指標があると良い。例えば町会加入率や投票率といった数値で測定できるし、三者が集ってディスカッションできる機会があれば、自治が進んだといえる一つの成果と考えられるだろう。</p> <p>自治基本条例推進委員会条例には単に答申するだけでなく、「市長に提案することができる」と定められているため、そのような仕掛けを積極的に市長に提案できるような委員会になれると良い。どのようにすれば自治が進んだと測定もしくは体感できるかを考えて、次回の委員会で意見を出し合えれば良いと考える。</p>
委員	<p>他の自治体で、市民から「もし1億円あったら条例の啓発のために何をするか」という質問を受けたことがある。このような観点で考えても良いのではないかと。</p>
副委員長	<p>今回の公募市民の委員の中に大学生がいるが、とても素晴らしいことである。もっと多くの若者にこのような場に関わってもらいたい。</p>

	<p>市長からの諮問は3つあるが、優先順位をつけるとしたら、まず「条例の普及及び啓発に関すること」だと思う。「条例の見直し」については、それは運用していく中で見つけていくことだと考える。したがって、条例を普及・啓発するための案についてまず考えるのが良いと思う。</p>
委員	<p>市長のまちづくりに対する考えもお聞かせいただけると条例の推進に対してイメージがしやすくなる。</p>
事務局	<p>次回以降のスケジュールを調整したい。</p>
委員	<p>議会についても話ができる機会があれば説明させていただきたい。</p>
委員長	<p>身近に感じる課題として、子ども会の加入率低下がある。どうすれば加入率が上がるかという観点からも考えてみたい。</p>
事務局	<p>それでは、次回までに、自治基本条例の啓発の方法、PRの方法について、各自考えていただき、次回の委員会のテーマとしたい。</p>
委員	<p>会議の手法については、円形になって行う場合や、少人数のグループに分かれて行う場合等、その都度臨機応変に選ぶのが良い。</p>
委員長	<p><u>(4) その他</u> それでは、(4) その他について何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の委員会の日程は、平成28年2月を予定している。 詳細な日程については、後日改めて連絡する。</p>
	<p>5 閉会 閉会のあいさつ</p>